

ロクハ公園プール基本計画 (案)

概 要 版

令和 年 月 日

草 津 市

第1章 計画の目的と位置づけ

1 背景・目的

ロクハ公園プールは、これまで多くの市民に利用され、親しまれてきましたが、昭和 63（1988）年のオープンから 35 年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。

草津市（以下、「本市」という。）では、老朽化状況を把握するため、令和 4（2022）年度に施設の劣化度調査を実施しました。その結果利用継続については、更新等の対応が必要であることを確認しました。

このことから、令和 5（2023）～令和 6（2024）年度については、劣化度調査の結果や運営状況を踏まえ、学識経験者や関係団体等で構成する委員会での専門的・多角的な議論を行ってきました。また、市民アンケート調査や利用者アンケート調査を行い、市民の皆様のご意見や要望を抽出してきました。

こうした検討を踏まえ、ロクハ公園プール基本計画（以下、「本計画」という。）は、今後のロクハ公園プールの利用継続に向けた施設整備等の方向性を定める計画として策定しました。

2 上位関連計画等の位置づけ

本計画は、最上位計画となる「第 6 次草津市総合計画」や上位計画である「草津市都市計画マスタープラン」に適合しながら、「第 3 次草津市みどりの基本計画」、「草津市版地域再生計画」などの関連計画や「都市公園法」や「地方自治法」などの関連法令との調和を図ります。

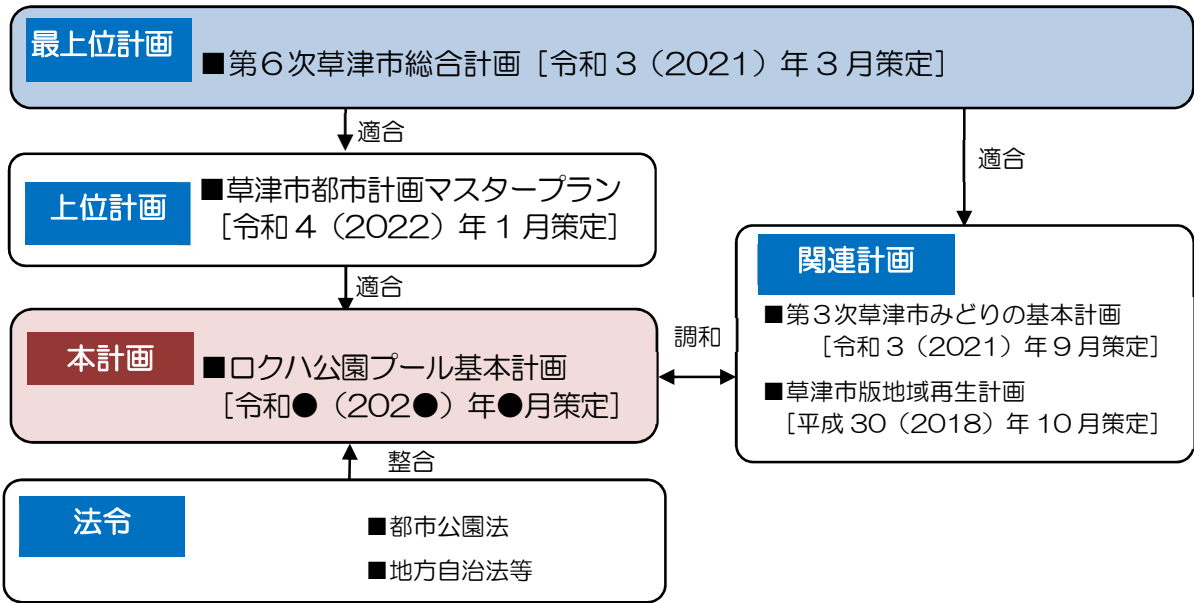


図 上位関連計画等の位置づけ

また、本計画の最上位計画となる「第 6 次草津市総合計画」において、SDGs の目的である持続可能なまちの実現を目指しており、本計画においても、ロクハ公園プール再整備計画の検討にあたり、SDGs の目標への対応に配慮しました。

本計画に関連する目標は、主に右に示すとおりです。



図 SDGs（持続可能な開発目標）の位置づけ



図 ロクハ公園の園内図

第2章 ロクハ公園プールの現状

1 施設概要

ロクハ公園プールの施設概要は以下に示します。

表 ロクハ公園プールの概要

所在地	滋賀県草津市追分 7 丁目 11 番 2 号
管理者	草津市
開設年度	昭和 63（1988）年 7 月 ※可動上屋は平成 3（1991）年 2 月竣工
プール施設	幼児プール、25m プール※、流水プール、スライダープール ※25m プールは、劣化の進行により、2023（令和 5）年度から営業休止
開館期間・開館時間	■屋内プール（25m プール・幼児プール） ・ 5 月 15 日～6 月 30 日、9 月 1 日～9 月 30 日：13：30～20：30 ※令和 5 年（2023）年度以降は 25m プール休止のため幼児プールも合わせて休止。 ・ 7 月 1 日～8 月 31 日：10：00～20：30 ※令和 5（2023）年度以降は幼児プールのみ 9：30～17：00 まで営業。屋外プールと営業時間を合わせている。 ■屋外プール（流水プール・スライダープール） ・ 7 月 1 日～8 月 31 日：10：00～17：00 ※令和 5（2023）年度以降は 9：30～17：00 まで営業。25m プール休止の代わりに営業時間を 30 分早めている。
休館日	毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日） ※7 月 21 日～8 月 31 日は無休
事業方式	指定管理者制度
特徴	・ 昭和 63（1988）年の開設後、長期間が経過しており、老朽化による修繕等の対応が年々増えている。 ・ 屋内プール（幼児プール・25m プール）と屋外プール（流水プール・スライダープール）合わせて 4 種類のプールを有する。隣接する芝生広場を休憩スペースとして活用可能。 ・ 利用者ニーズとして、トイレや更衣室等のバリアフリー化ができておらず、施設に対する不満がある一方で、スライダーや流水プール等、レジャープールへの期待感が高い。

2 利用状況

ロクハ公園プールの利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元（2019）年までは年間 6 万人～7 万人程度で推移しています。その後、新型コロナウイルスの影響もあり減少したものの、令和 5（2023）年には 5.5 万人まで回復しています。

年齢層別利用者数でみると、大人と小・中学生がそれぞれ全体の 40% 程度を占めています。



図 月別利用者数

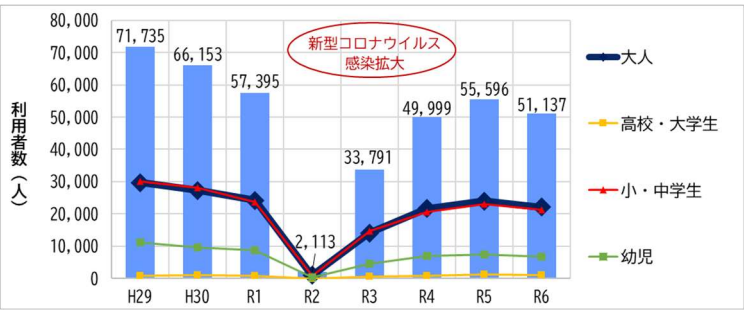


図 年齢構成別利用者数

3 劣化状況

令和 4（2022）年度に実施した劣化度調査では、利用継続には更新等の対応が必要とされています。

表 ロクハ公園プールの劣化状況

項目	緊急度	項目	緊急度
①屋内プール（25m プール）のプール槽	大	⑤可動屋根	中
②屋内プール（幼児プール）のプール槽	中	⑥温水ボイラー（屋内プール用）	中
③流水プールのプール槽	中	⑦地下式オイルタンク（温水ボイラー用）	低
④ウォータースライダー	中	⑧排水管	中

第3章 市民・利用者のニーズ把握

1 市民アンケート調査

市民アンケート調査の概要を以下に整理します。

表 市民アンケート調査の概要

項目	概要
調査対象	草津市在住の18歳以上の市民3,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出した市民宛にアンケート用紙を郵送し、返送もしくはアンケートフォームにて回答
調査期間	令和5（2023）年7月21日から8月2日まで
回収結果	発送数：3,000件、有効回答数：982件、有効回答率：32.7%
調査結果	●回答者の年齢 ・「40歳代（31.7%）」、「30歳代（30.8%）」が多かった。 ●利用の有無について ・「利用したことがある（67.8%）」、「利用したことがない（32.1%）」であった。 ●来園する際の主な交通手段 ・「車（79.5%）」、「自転車（14.5%）」、「徒歩（3.2%）」が多かった。 ●主に誰と利用するかについて ・「家族（81.6%）」、「友人・知人（16.8%）」が多かった。 ●主に利用する施設について ・主に利用する施設（複数回答可）として、「流水プール（90.1%）」、「25mプール（47.3%）」、「スライダープール（47.2%）」が多く挙げられた。 ●現在のロクハ公園プールの満足度について ・回答者の約4割が「普通（43.6%）」と回答し、同じく約4割が「満足（「とても満足（7.5%）」または「満足（36.2%）」）と回答した。 ・満足を選んだ理由（複数回答可）として、「流水プールがある（70.5%）」、「料金が安い（57.7%）」、「自宅から近い（56.4%）」、「スライダープールがある（44.3%）」が多く挙げられた。 ・不満を選んだ理由（複数回答可）として、「施設が古い（64.9%）」、「施設が汚い（63.6%）」、「規模が小さい（29.9%）」、「プールの種類に魅力がない（27.3%）」が多く挙げられた。 ●ロクハ公園プールのリニューアルについて ・リニューアル後にあれば良いと思う施設（複数回答可）として、「レジャー施設（75.4%）」、「小さな子どもが水と触れ合える施設（59.0%）」、「売店（53.0%）」が多く挙げられた。 ・リニューアルに求めるもの（複数回答可）として、「休憩スペースが充実している（62.7%）」、「施設や遊具が充実している（62.1%）」、「子どもを遊ばせられる施設が充実している（59.5%）」が多く挙げられた。

2 利用者アンケート調査

利用者アンケート調査の概要を以下に整理します。

表 利用者アンケート調査の概要

項目	概要
調査対象	ロクハ公園プールの利用者
調査方法	ロクハ公園プールの利用者に対してアンケート用紙を配布し、記入後のアンケート用紙を回収もしくはアンケートフォームにて回答
調査期間	令和5（2023）年7月21日から8月2日まで
回収結果	回収数：212件
調査結果	●回答者の年齢 ・「40歳代（42.9%）」、「30歳代（32.1%）」、「10歳代（9.9%）」が多かった。 ●お住まいについて ・回答者の9割が県内「市内（34.0%）」、「市外（59.0%）」であった。 ●来園する際の主な交通手段 ・「車（90.6%）」、「自転車（7.5%）」が多かった。 ●主に利用する施設について ・主に利用する施設（複数回答可）として、「流水プール（94.8%）」、「スライダープール（49.5%）」「25mプール（20.8%）」が多く挙げられた。 ●現在のロクハ公園プールの満足度について ・回答者の約7割が「満足（「とても満足（22.2%）」または「満足（50.0%）」）と回答した。 ・満足を選んだ理由（複数回答可）として、「流水プールがある（72.1%）」、「料金が安い（68.7%）」、「自宅から近い（47.8%）」、「スライダープールがある（47.8%）」が多く挙げられた。 ・不満を選んだ理由（複数回答可）として、「施設が古い（45.5%）」、「プールの種類に魅力がない（45.5%）」、「施設が汚い（45.5%）」が多く挙げられた。 ●ロクハ公園プールのリニューアルについて ・リニューアル後にあれば良いと思う施設（複数回答可）として、「レジャー施設（77.4%）」、「飲食店（47.6%）」、「売店（45.8%）」が多く挙げられた。 ・リニューアルに求めるもの（複数回答可）として、「休憩スペースが充実している（61.3%）」、「施設や遊具が充実している（59.4%）」、「プールの面積が広い（59.0%）」が多く挙げられた

第4章 ロクハ公園プール検討委員会での検討経緯

1 ロクハ公園プール検討委員会での主な協議内容

本計画の策定に当たっては、令和5（2023）年度からロクハ公園プール検討委員会（以下、「委員会」という。）を設立し、継続的に検討を進めてきました。

委員会での主な協議内容を以下に整理します。

第1回委員会 令和5（2023）年7月10日
《主な協議事項》 ・草津市長からの諮問 ・ロクハ公園プール基本計画の策定について ・市民アンケート・利用者アンケート（案）について 《委員からの主な意見》 ・現プールの主要施設である流水プールやスライダープールを積極的に打ち出していくとともに、劣化が著しい25mプールの活用方法を含め、リニューアルの方向性を審議・検討していく形が良い。 ・屋根付きの休憩スペース、更衣室、トイレなどプール付帯施設の快適性向上についても検討する必要がある。 ・ロクハ公園内のプールであることを踏まえ、ロクハ公園全体にも目を向けて検討する必要がある。 ・市民アンケート・利用者アンケートは、分かりやすさに配慮した設問構成にした方が良い。 《結果》 ・事務局で提案意見をゾーニングイメージにまとめ、次回委員会で確認する。 ・アンケートについて、回答者の負担を軽減のため内容を精査し次回委員会で実施結果を報告する。

第2回委員会 令和5（2023）年9月7日
《主な協議事項》 ・市民アンケート・利用者アンケート結果について ・ロクハ公園プール再整備方針（素案）について 《委員からの主な意見》 ・新しいロクハ公園プールには、小さな子どもでも楽しめるような遊具が必要であると考える。 ・特に小さな子どもが利用する施設については、保護者の目が届きやすい配置とすることが望ましい。 ・熱中症対策として、屋根付きの休憩スペースは必要と考える。 ・子ども向けやファミリー向けの機能に加え、高齢者でも利用できるような施設があると良い。 ・駐車場の確保が課題である。 《結果》 ・委員会の意見を踏まえ再整備方針（素案）を修正する

第3回委員会 令和5（2023）年11月27日
《主な協議事項》 ・基本計画策定スケジュールについて ・第2回委員会を踏まえたロクハ公園プール再整備方針（修正案）について 《委員からの主な意見》 ・ロクハ公園プールでは、ロクハ公園としての特徴を生かした活用方策を検討することが望ましい。 ・公民連携手法を導入する上では収益性の確保も重要と考える。 ・ロクハ公園プールだけに注目するのではなく、公園全体の有効活用という視点で検討することも有効と考えられる。 ・これまでの委員会で挙げられた意見や市民・利用者アンケートから得られた市民意向等を踏まえ、市場ニーズ調査（公募型）の実施に向けた条件整理等を進めていただきたい。 《結果》 ・市場ニーズ調査（公募型）を実施することとする。 ・市場ニーズ調査（対話型）、アンケート結果、委員会の意見を踏まえ、市場ニーズ調査（公募型）の実施要領（案）の作成を行う。

第4回委員会 令和6（2024）年3月27日
《主な協議事項》 ・市場ニーズ調査（公募型）実施方法等の確認について ・基本計画（素案）の確認について 《委員からの主な意見》 ・市場ニーズ調査（公募型）では、公園全体との連携や調和を考慮した提案を求めることが望ましい。 ・これまでの委員会での協議内容を踏まえ、基本計画（素案）の具体化を進めていただきたい。 《結果》 ・市場ニーズ調査（公募型）実施要領（案）に基づき、民間事業者の導入可能性を調査する。

第5回委員会 令和6（2024）年9月30日
《主な協議事項》 ・市場ニーズ調査（公募型）実施結果の確認について ・基本計画（素案）の確認について 《委員からの主な意見》 ※委員会での協議結果を踏まえて記入

第6回委員会 令和●（202●）年●月●日
《主な協議事項》 ※委員会での協議結果を踏まえて記入 《委員からの主な意見》 ※委員会での協議結果を踏まえて記入

2 ゾーニングイメージの作成

委員会では、各委員の意見や委員会での協議内容を集約し、ロクハ公園プールのゾーニングイメージを作成しました。作成したゾーニングイメージを以下に示します。
 なお、ゾーニングイメージは委員会での協議内容を踏まえて作成した想定イメージ図であり、今後の検討等により変更となる場合があります。

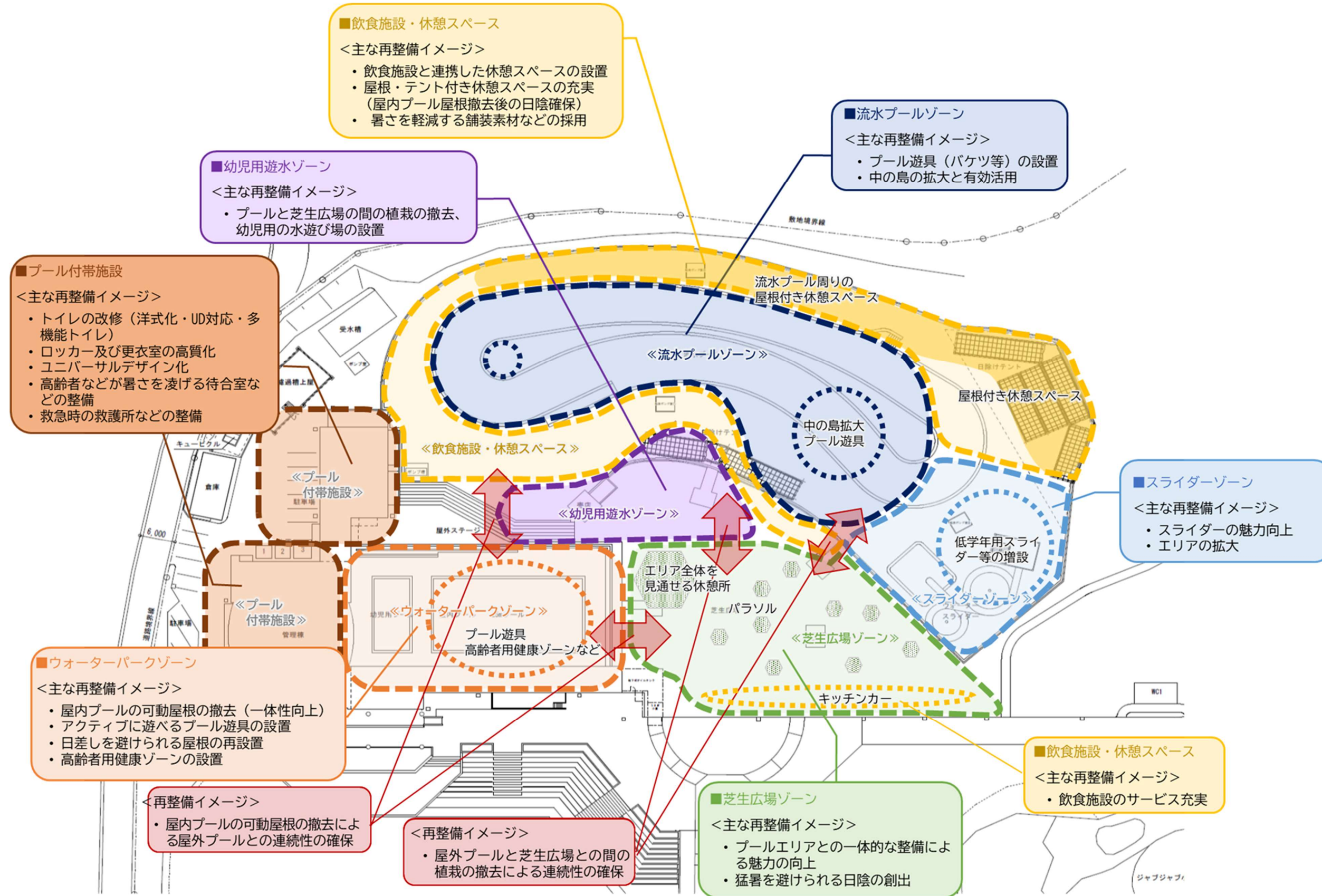


図 ゾーニングイメージ

第5章 ロクハ公園プールの再整備計画

1 ロクハ公園プールを取り巻く課題

ロクハ公園プールの再整備の背景、関連計画との整合、市民・利用者アンケート調査結果、検討委員会の意見を踏まえたロクハ公園プールを取り巻く現状と課題を以下に整理します。

表 ロクハ公園プールを取り巻く課題

現 状	
人口の状況	・草津市の人口は増加傾向で推移しているが、令和12年をピークに減少に転じると推計されている ・高齢化が進行している
立地・交通の特性	・第3次草津市みどりの基本計画において「拠点地区」に位置付けられるロクハ公園内に立地している ・利用者アンケートでは9割程度が車で来訪している
利用者層	・子育て世代（主に30代・40代）の他、10代の利用が多い ・利用者アンケートでは県内が9割以上（市内は3割程度）を占める ・市民・利用者アンケートとも家族連れの利用が8割以上と多く子どものレジャー目的の利用が多いと推察される
プール利用状況	・新型コロナウイルスの影響で利用者数が落ち込んだものの、令和5年には年間5.5万人程度まで回復している
プール施設の状況	・建設後、35年以上を経過し、老朽化が著しい状況である ・利用者アンケートでは、プール施設の満足度は高い（7割以上）
プール付帯施設の状況	・プール施設と同様に老朽化が進行し、アンケートでも老朽化、汚いことへの不満が多い ・バリアフリー化やトイレの洋式化が進んでおらず、改善の要望がある ・駐車場の足りない
関連施設の現況	・競泳用および健康づくり用屋内プールとして、インフロニア 草津アクアティクスセンター（草津市立プール）が立地している ・市内には、レジャープールが矢橋帰帆島公園プールにしか存在しない
市民ニーズ	・市民・利用者アンケートともに、レジャープールへのニーズが多い ・プール施設や遊具、休憩スペース等の充実を求める意見が特に多い
関連計画	・草津市としても第6次総合計画の将来ビジョンとして「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと健康創造都市 草津」として施策を展開している

課 題
① 「地域のレジャープール」としての役割の維持 ・アンケート調査での高い満足度（利用者の7割以上）を踏まえ、昭和63年の開設以降、広く市民等に利用されてきたファミリー向けレジャープールの老朽化に対し改廃の判断する必要がある。 ・近隣プールとの棲み分けや、流水プールやスライダープールへの満足が高い市民ニーズを踏まえたプール機能のアップデートする必要がある ・特に市民・利用者アンケートともに6割程度の需要がある子どもが水と触れ合える機能の強化の検討をする必要がある
② 効果的・効率的な老朽化対策 ・アンケートで把握した安全・安心の確保に資する大規模改修・更新等を含めた施設の老朽化対策が必要 ・アンケートで把握した衛生面や快適性を向上させる内装・設備等の更新内容の検討
③ 新たな魅力の創出 ・市民アンケートで7～8割程度の方が望むレジャー機能の強化の検討 ・オフシーズンのプール利用を含めた新たな活用方法の検討 ・魅力的なイベント・プログラムの実施などソフト面の取組の充実
④ 利用者満足度の更なる向上 ・トイレや更衣室等における衛生面や利便性の向上 ・プール付帯施設のバリアフリー対応 ・市民・利用者アンケートの中で要望の多い休憩スペース・売店等の充実 ・駐車場の充実（渋滞対策）
⑤ ロクハ公園全体との調和 ・ロクハ公園全体の維持管理・運営についての検討も必要
⑥ 上位関連計画との調和 ・健康都市を実現していくための取り組みを進める必要がある

2 基本方針

ロクハ公園プールを取り巻く課題を踏まえ、ロクハ公園プールの再整備に向けた基本方針を「地域に愛されるレジャープールとしての魅力向上」としました。

《ロクハ公園プールの再整備に向けた基本方針》
地域に愛されるレジャープールとしての魅力向上

ロクハ公園プールは、利用者アンケート調査において特に満足度が高いことが確認できたことを踏まえ、地域のレジャープールとしての機能は維持しつつ、魅力的なプール施設の導入や快適で清潔感のあるプール付帯施設の改修などにより、利用者の皆様にさらに満足いただけるプールへと再整備を行う方針とします。

3 対象区域

ロクハ公園プールのリニューアルに当たっては、現在のロクハ公園プールの敷地を対象区域（10,500㎡）とすることを基本とします。

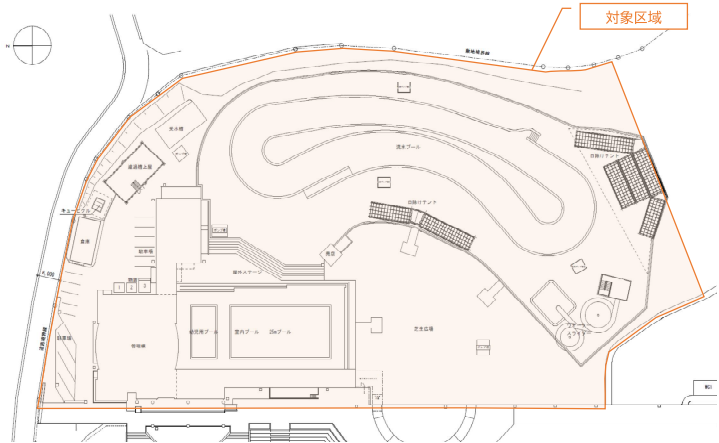


図 対象区域

4 来場者数の設定

民間活力の導入によるレジャープールとしての魅力向上等により、「7万人」を想定します。

5 整備に当たっての基本的な考え方

基本方針を踏まえ、ロクハ公園プールの再整備に当たっての基本的な考え方を以下に整理します。

- ① 現在のロクハ公園プールは、利用者アンケートで満足度が高いことから、基本として現在の機能・施設を維持していくこととする。
25mプールについては、インフロニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）が新たにオープンしたことから、積極的に設置することはない。
- ② 市民アンケート・利用者アンケートでも意見のあった、施設の古さや汚さを改善していくことが必須である。
- ③ 市民アンケート・利用者アンケートで満足度が高い理由として、流水プールやスライダープールがある一方で、不満点としてプールの種類に魅力がないことが挙げられていることと検討委員会での意見を踏まえ、流水プールやスライダープールの機能を生かしながら、プールの魅力向上を図っていく。
- ④ リニューアルにあたり望まれる施設として、これまでの検討委員会の意見や、市民アンケート・利用者アンケート調査において、小さな子どもが水と触れ合える幼児用プールやアトラクションプール、休憩スペース、飲食店・売店などの要望が多かったことから、これらの機能の充実を目指していく。
- ⑤ 民間活力の導入により、新しい視点や発想による魅力向上を目指していく。
- ⑥ 利用者の健康づくりに資する施設や子育て世代に寄り添った施設を設置していく。

※健康・・・生きがいをもち、健やかで幸せであること。

6 導入機能

6.1. 基本となる機能

整備に当たっての基本的な考え方を踏まえ、新しいロクハ公園プールは、以下に示す機能を必須とします。

① 流水プール
・現在も特に人気の施設であることから、遊泳用の流水プールを導入します。 ・流水プールは、利用者ニーズ等を踏まえて配置や規模を見直すとともに、プール遊具の導入、中の島の活用、プール形状に変化をつける等、利用者を飽きさせない工夫を求めます。
② スライダープール
・現在も特に人気の施設であることから、スライダープールを導入します。 ・現在のスライダーは身長 120cm 未満の子どもは利用できないことから、小・中学生以上を対象としたスライダーに加え、低学年用でも利用できるスライダーを設置します。 ・スライダー及び低学年用スライダーは、複数系統の設置や形状に変化を加える等、利用者が魅力を感じる工夫を求めます。
③ 幼児用遊水プール
・主に小学生未満の幼児が保護者と一緒に水と触れ合える空間を想定した施設を設置します。
④ アトラクションプール
・プール遊具等で小・中学生等がアクティブに遊べる空間を想定した施設を設置します。
⑤ 管理棟
・トイレ、更衣室、シャワー等は、衛生面や利便性に配慮し、清潔かつ快適に利用できる施設としてリニューアルを行います。 ・ユニバーサルデザインの観点から、誰もが使いやすい機能、デザイン、配置とします。 ・多目的トイレや多目的更衣室を設置します。 ・暑さを凌げる待合室や救急時の救護スペース等、機能の充実を求めます。
⑥ プールサイド
・利用者が安全に安心して利用できるよう、舗装材は、防滑性、クッション性のあり、清掃しやすい材料とします。また、夏場の表面温度上昇及びプールの衛生面や美観にも配慮したものを求めます。 ・暑さ対策として屋根・テント付きの休憩スペースを設置します。
⑦ 休憩スペース
・暑さ対策として屋根付きの休憩スペースを、想定入場者から必要と考える規模のものを設置します。 ・オフシーズンについても、地域のイベント等で多目的に活用できる様に、屋根付きで空調が完備された施設を求めます。
⑧ 飲食施設
・利用者に飲食サービスを提供する飲食施設を求めます。 ・キッチンカー用のスペースを設けるなど、常設・仮設も含め利用者ニーズに対応できるものとします。 ・飲食施設は、定期的に新メニューの開発やメニューの入れ替え、見直しを行う等、利用者に飽きさせない工夫を求めます。
⑨ その他機能
・上記の機能に限らず、市場ニーズ等も踏まえ、ロクハ公園プールの利用促進や利用満足度の向上に繋がるプール施設や、健幸ステーションなどの健幸づくりに資する施設や赤ちゃんの駅などの子育て世代に配慮したスペース等を導入します。

6.2. 導入が考えられる機能

基本となる機能に加え、更なる魅力の向上に向けて、以下に示す機能の導入を検討します。

① 芝生広場
・屋根付きの休憩スペースやパラソルを設置する等、利用者の憩いの場となる空間を想定します。
② 売店施設
・利用者にプール関連等のサービス（ゴーグル・キャップ・タオル等）を提供する売店施設を求めます。

第6章 事業手法の考え方

1 民間活力導入の基本的な考え方

ロクハ公園プールの再整備にあたっては、民間事業者のノウハウや創意工夫を取り入れた魅力的なレジャープールを市民に提供するため、PPP等の公民連携手法の導入を基本とします。

PPP（Public Private Partnership）とは
➤ 公共施設等の建設、維持管理、運営等を、行政と民間事業者が連携して行うことにより、民間事業者の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るもので、「公民連携」とも呼ばれる。

2 市場ニーズ調査

市場ニーズ調査（公募型）の概要を以下に整理します。

表 市場ニーズ調査（公募型）の概要

項目	概要
調査目的	ロクハ公園プールの再整備および公園全体のにぎわい創出にあたり、民間の創意工夫による公民連携手法の導入について、「対話」を通じて、本市が想定する事業条件の実現性を確認すること
調査方法	本市のホームページに市場ニーズ調査（公募型）の実施要領を公表し、提案書の提出があった事業者を対象に対話を実施
調査期間	令和6（2024）年4月8日に実施要領を公表し、7月1日、7月3日に対話を実施
調査結果	●事業について - 代表企業・構成企業いずれの立場での参画も可能であるとの意見が多かった。 - 市内児童遊園の指定管理業務を含めた場合でも参画検討は可能であるとの意見もあった。 ●導入機能及び活用方策について - 既存機能の魅力向上に加え、新たなプール施設・プール付帯施設の導入や公園全体を活用した多彩なソフト事業（テントサウナ・グランピング、イルミネーション、クリスマスマーケット、水泳教室、健康教室、ウォーキング、子ども体操等）の提案が得られた。 - 事業継続に向けた収益性確保のため、通年利用可能な温水プールの提案があった。 ●事業スキームについて - 事業方式としては、「DBO方式」が望ましいとの回答が得られた一方で、「設計・建設事業者と維持管理・運営事業者を区分して募集する事業方式」でも可能との意見であった。 - 事業期間は、人材育成や投資回収等の視点から10年以上の長期を希望する意見が多かった。 - プールを除いたPark-PFIの実施は可能であるが、事業採算上、時期や導入機能を慎重に検討する必要があるとの意見もあった。 - 圧倒的に人通りの多いところでない、Park-PFIの実現は困難との意見もあった。 - ロクハ公園全体の一体的な維持管理・運営を図るためにも、公園全体の維持管理・運営業務と自主事業は、同一の企業体とすることが望ましいとの意見があった。 ●事業への参画意向について - 参加したすべての事業者が「条件によっては参画したい」と回答した。 - 一定の公募条件が示された段階で具体的な参画検討が可能となるとの意見が挙げられた。 - 参画を検討する上での主な課題としては、「物価上昇等に対する適切なリスク分担の設定」「適切な予算の設定」等の意見が挙げられた。 ●その他 - 公募条件については、事業者の提案余地を確保しつつ、市として一定の方針を示す必要があるとの意見が得られた。 - 事業者募集・選定時の審査については、提案内容を重視した評価基準を設定するとともに、市として評価する点の明確な提示をした方が望ましいとのことであった。

3 ロクハ公園プールの再整備に関して想定される事業手法

市場ニーズ調査（公募型）の結果等を踏まえ、ロクハ公園プールの再整備における事業手法は「DBO方式」とします。

また、ロクハ公園プールの設計・建設・維持管理・運営だけでなく、ロクハ公園全体の維持管理・運営やPark-PFIによる収益事業をセットで募集する事業手法とします。

表 想定される事業手法

DBO方式（指定管理者制度併用）		
事業スキーム （イメージ図）		
契約	一体募集 ➤ 基本協定（各契約の関係性等を定める） ➤ 指定管理者基本協定 ➤ 設計・施工一括発注契約	
事業期間の目安	10～30年程度	
役割分担	計画策定	市
	設計 Design	民間（一体募集）
	建設 Build	民間（一体募集）
	資金調達 Finance	市
	維持管理 Maintenance	民間（一体募集）
	運営 Operation	民間（一体募集）

4 事業範囲

事業範囲としては、ロクハ公園プールの設計・建設・維持管理・運営業務を基本とします。
また、ロクハ公園全体における一体性のある維持管理・運営の実施やにぎわい創出を図るため、公園全体の維持管理・運営業務や公園全体の活用についても引き続き検討します。

第7章 今後の予定スケジュール

ロクハ公園プールの再整備に向けた今後の予定スケジュールを以下に示します。なお、今後の検討状況等により、見直しとなる場合があります。
ロクハ公園プールの再整備に当たっては、国の交付金等を活用する予定です。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度～令和27年度
基本計画策定		事業者募集・選定	公民連携事業			
			（設計・建設）期間		（維持管理・運営）期間	
現プール運営 （指定管理者制度）				プール休止 （公民連携事業者）		新プール運営 （公民連携事業者）

図 今後の予定スケジュール